

素早く成果を出す。
やってみて柔軟に変化
設計書を作成せず、いきなり開発
ユーザーのニーズに合った
何度もブラッシュアップ
組織を越えた変革サポート体制
得意領域で貢献
将来価値の向上に寄与
自らゴールとミッションを設定して、他社と共創して、成果
素早く決断できる。
リアルタイムに把握する仕組み
実践で試して失敗を繰り返す
個別の状況に合わせて具体的に
最新の情報を得る
情報を発信し、自分の意見を伝え、ビジョンに共感・共鳴するフォロワー、メンバー、仲間を集め、支援する。
複数の共創型の小規模チームに所属
信頼関係を構築する。
迅速化、効率化
コストや時間を節約
低コストで素早く正確
途中で軌道修正
自分で仮説を設定して、検証
批判的な態度で、建設的に反論する。
反対の理由と対案、ソリューション提案
無駄なタスクを排除
機会損失
意義や価値を疑う
フリーライドを許さない。

素早く成果を出すためのアプローチ

1. 柔軟な開発プロセス

設計書を作成せず、いきなり開発：初期段階で詳細な設計書を作成せず、プロトタイプを迅速に作成し、ユーザーのフィードバックを基に改善を繰り返すアプローチが有効です。

何度もブラッシュアップ：ユーザーのニーズに合った製品を提供するために、反復的な改善プロセスを取り入れます。

2. 組織を越えた変革サポート体制

得意領域で貢献：各メンバーが自分の得意分野で貢献し、組織全体のパフォーマンスを向上させます。

将来価値の向上に寄与：長期的な視点での価値向上を目指し、組織全体で協力します。

3. 自律的な目標設定と共創

自らゴールとミッションを設定：各メンバーが自ら目標を設定し、他社と共創して成果を上げることが重要です。

素早く決断できる：迅速な意思決定が求められます。

4. リアルタイムの情報把握

リアルタイムに把握する仕組み：最新の情報をリアルタイムで把握し、迅速な対応を可能にする仕組みを構築します。

5. 実践と失敗からの学び

実践で試して失敗を繰り返す：実際に試行錯誤を繰り返し、失敗から学ぶ文化を醸成します。

個別の状況に合わせて具体的に：各プロジェクトの状況に応じた具体的な対応策を講じます。

6. 最新情報の取得と発信

最新の情報を得る：常に最新の情報を収集し、適切なタイミングで活用します。

情報を発信し、意見を伝える：自分の意見を積極的に発信し、ビジョンに共感・共鳴するフォロワーやメンバーを集めます。

7. 小規模チームでの共創

複数の共創型の小規模チームに所属：小規模チームでの共創を通じて、迅速かつ効率的にプロジェクトを進めます。

信頼関係を構築する：チーム内外での信頼関係を築き、協力体制を強化します。

8. 迅速化と効率化

コストや時間を節約：迅速かつ効率的にプロジェクトを進めることで、コストや時間を節約します。

低コストで素早く正確：低コストで迅速かつ正確な成果を出すことを目指します。

9. 仮説検証と批判的思考

自分で仮説を設定して、検証：自ら仮説を立て、それを検証するプロセスを重視します。

批判的な態度で、建設的に反論：批判的な視点を持ちつつ、建設的な反論や対案を提案します。

10. 無駄の排除と価値の追求

無駄なタスクを排除：無駄なタスクを排除し、効率的な業務運営を目指します。

機会損失の防止：機会損失を防ぐために、迅速な対応と柔軟な戦略を採用します。

意義や価値を疑う：常に意義や価値を問い直し、フリーライドを許さない文化を醸成します。

これらのアプローチを組み合わせることで、生成 AI 時代において迅速かつ効果的に成果を出す組織を構築することができます。